

## 審査結果の要旨

報告番号	乙 第 <b>2769</b> 号	氏名	賀来寛雄
審査担当者	主査	<b>佐田通夫</b>	(印)
	副主査	<b>奥田誠也</b>	(印)
	副主査	<b>西 昭徳</b>	(印)
主論文題目 : Anorexigenic Effects of Miglitol in Concert with the Alterations of Gut Hormone Secretion and Gastric Emptying in Healthy Subjects (健常者におけるミグリトールの食欲抑制効果と消化管ホルモン分泌および胃排出能への影響)			

### 審査結果の要旨 (意見)

本論文は  $\alpha$  グルコシダーゼ阻害薬ミグリトールが食欲抑制作用を有する GLP-1 および PYY の食後の分泌反応を顕著に増加させ、また食欲促進作用を有するグレリンの抑制を持続させることにより、胃排出速度を遅延させるとともに、満腹感の持続と食欲抑制を引き起こすことを示している。2 型糖尿病の診療においては、食欲コントロールと体重減少が最も重要であり、また困難な課題である。肥満 2 型糖尿病が年々増加している状況にあって、本研究で示されたミグリトールの食欲抑制作用は、2 型糖尿病の薬物療法を考える際に重要な示唆を与える知見と考えられる。

### 論文要旨

$\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬であるミグリトールは炭水化物の消化吸収を阻害し食後高血糖を改善するだけでなく、消化管ホルモンの分泌に様々な影響を与える。そこで、ミグリトールの消化管ホルモン分泌および食欲に対する作用を、健常者 20 名にクッキー食負荷試験を行い検討した。食欲および空腹感は visual analog scale で評価した。ミグリトールをクッキー摂取直前に内服すると、摂取後の血糖および血中 IRI, CPR の上昇が有意に抑制された。食欲促進作用を有するグレリンの食後の抑制はミグリトールにより有意に延長し、食欲抑制作用を有するペプチド YY 及び GLP-1 の上昇はミグリトールにより有意に増大した。また、ミグリトールは食後 2, 3 時間の満腹感を増強し、食後 3 時間の空腹感を有意に抑制した。呼気中  $^{13}\text{C}_2$  濃度により測定した胃排出時間は、ミグリトールの前投与により有意に遅延していた。以上よりミグリトールは食後の血中グレリン再上昇を抑制し、GLP-1 およびペプチド YY 分泌を増加させ、胃排出時間を遅延させることにより食欲を抑制すると考えられた。